

平成27年度第2回多摩区地域福祉計画推進会議

日時 平成28年3月9日(水)
午後3時00分～4時30分
場所 多摩区役所1階 第一相談室

次 第

1 開会

- (1) 多摩区における地域包括ケアシステムの推進に向けて
- (2) 区役所の組織改正について ～地域みまもり支援センターの設置～

2 議事

今年度の多摩区地域福祉計画の取組結果について

3 その他

次回日程

平成28年6月15日(水)又は平成28年6月22日(水) 13:30～15:00

4 閉会

【資料】

- 1 多摩区地域自立支援協議会だより たまネット
- 2 多摩区精神保健福祉連絡会議講演会チラシ 「子どもたちのメンタルヘルスを考える」
- 3 たまっ子育成会議報告
- 4 多摩区ネットワークづくり事業報告
- 5 思いっきり外遊び
- 6 助けられ上手講座「男っていうやつは…」チラシ
- 7 多摩区人材育成事業の取組み

【冊子】

多摩区における地域包括ケアシステムの推進に向けて
誰もが住みなれた地域や自ら望む場で安心して暮らし続けるために
安心して暮らし続けるために ～地域包括ケアシステムの推進



たまネット

気軽に
はじめたい、
「地域交流」

お祭りに 行ってみよう。

今年、多摩区地域自立支援協議会の目標は「地域に出よう」です。ふとした縁で人や場所に親しみを持つと、暮らしにも安心感が生まれるようです。

そこで「くらし委員会」では、まずは身近なところからスタート！を合言葉に、地域の様々な情報を発信してまいります。例えば、お住まいの近くのお祭り、商店会や町会のイベント、サークル活動など、気軽に催しを見に行く、顔を出してみる。タイミングが合えば参加させてもらう。ちょっとした機会を足がかりに新しい人の輪や交流が生まれるかもしれません。また、多摩区内に数多い文化財や史跡などもご紹介しつつ、安全確認や支援の連携など考察しながらお知らせしていきます。どうぞお楽しみに。



多摩区内の秋祭り予定

- 9月13日(日) 菅の獅子舞(薬師堂): 写真
平成13年県指定無形民俗文化財に指定される
- 10月17日(土) 多摩区民祭(生田緑地)

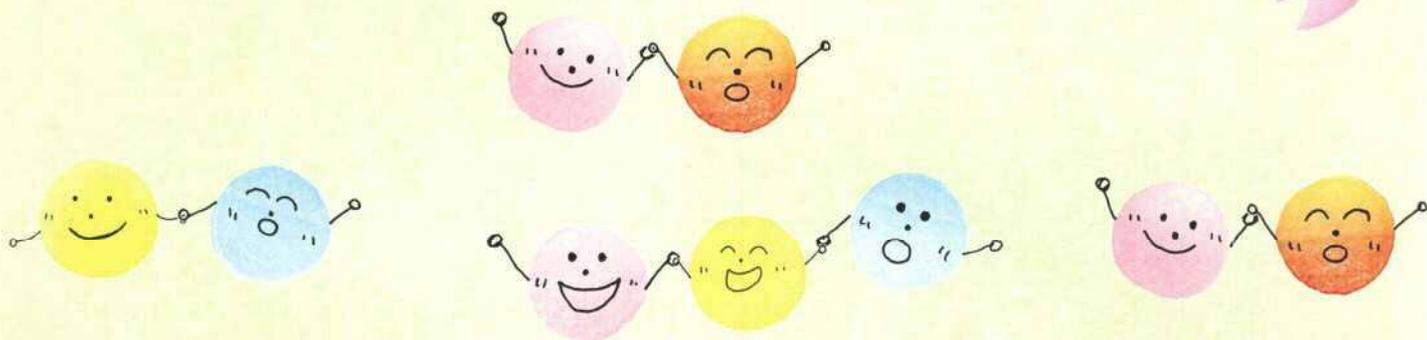
自分らしい 暮らしへの 第一歩!

バリアフリーのお店情報&
アンケート調査実施中!

障がいを持つ人たちを中心にした「当事者委員会」は、今年度「車いすお出かけマップ」の完成を目指して活動しています。昨年の道路状況の検証の成果を発展させて、今回は「気軽に立ち寄れるお店」の調査発掘が目的です。車いす利用者はもちろん、障がい者が自分で日常の買い物や外食、時にはブティック等でのショッピングや、美容室でのサービスを受けることができたら、グンと外出機会が増え、行動範囲が広がって、もっと生活を楽めます。

そんな期待と願いをこめて、街のバリアフリー化の現状はどうなっているか、さらにそれを積極的に進めていただくために、各商店街でのアンケート調査を実施いたします。結果はたまネットやホームページでご報告&紹介していきます。ぜひ、皆様のご協力をお願いいたします。



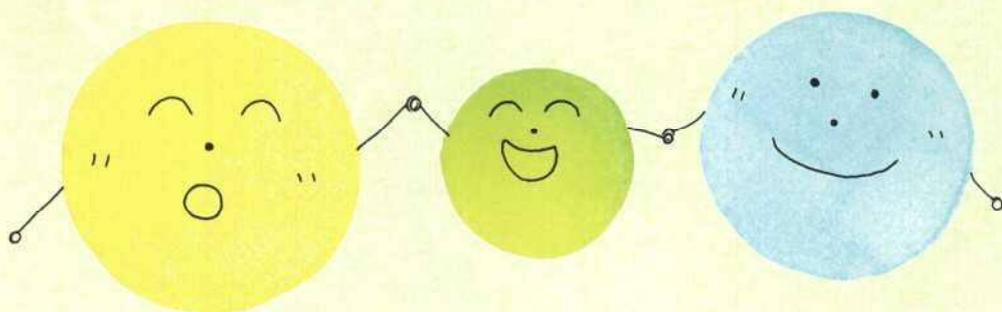


「子どもたちの メンタルヘルスを考える」

～みんなにおきる“こころ”の不調
早く気づいて支えるには?～

28年3月4日(金) 14時～16時

多摩区役所 市民館3階大会議室 13:30受付開始



定員
先着200名

入場無料
申込不要

問い合わせ 多摩区役所 高齢 障害課 障害者支援係

TEL 044-935-3299

多摩区精神保健福祉連絡会議講演会

誰もが身近におきる「ひきこもり」や「不登校」について、保護者や周りの大人はどのような関わりが必要なのか、子どもたちの“こころ”の不調にいち早く気づいてもらいたい。その様な思いから講演会を開催致します。

東邦大学医療センター大森病院の水野雅文先生を講演者としてお迎えし、児童・思春期におけるメンタルヘルス、“こころ”の不調の早期発見・早期介入の大切さについてお話いただきます。実際に現場で関わるスクールソーシャルワーカーの視点から、支援につながる経緯や、具体的な相談方法についてわかりやすく説明していただきます。みなさんに「子どもたちの声」が届いていますか？

講演内容

○ 講演「みんなにおきる“こころ”の不調、早く気づいて支えるには」

○ 演者 水野 雅文氏 (東邦大学医学部 精神神経医学講座教授)

小林 喜代美氏 (多摩区役所 子ども支援室 教育担当)

水野先生プロフィール

水野先生は、東京都大田区の東邦大学医療センター大森病院にて地域に根ざした精神医療、特に思春期・青年期の精神疾患の早期介入・治療を行うデイケア「イル ポスコ」を運営され、我が国のこの分野における研究・実践の第一人者としてご活躍です。また、他にも我が国の今後の大きな課題となっている、地域での精神科リハビリテーション分野の専門家でもあります。慶應義塾大学医学部を卒業後、同大学院、イタリア政府給費留学生としてイタリアに行かれ帰国後、慶應大学医学部精神神経科講師、助教授を経て、2006年より現職。International Early Psychosis Association(IEPA) Board Member, 日本精神保健・予防学会理事長。日本森田療法学会理事。

児童生徒に関する相談窓口

○多摩区役所 児童家庭課 児童家庭相談サポート担当 044-935-3101

子どもの相談全般（不登校・非行・ひきこもり・障害児・虐待等）平日 8:30～17:15

○多摩区役所 高齢・障害課 障害者支援係 044-935-3299 平日 8:30～17:15

○川崎市百合丘障害者センター 044-281-6621 平日 8:30～17:15

こころの病気や障害に関する相談

○川崎市総合教育センター 教育相談センター溝口相談室 044-844-3700 平日 9:00～16:30

小中学校の児童生徒の相談、総合教育相談等

○川崎市北部児童相談所 044-931-4300 平日 8:30～17:15

18歳未満児童の相談全般（児童虐待の相談・通告）

*多摩区精神保健福祉連絡会議とは、多摩区の精神保健福祉関係の団体と行政から構成され、平成14年度から精神保健福祉の普及・啓発及び関連団体とのネットワークづくりの活動を行っている会議です。

